

実際の販売や商品説明を体験する生徒ら  
(京都市左京区・京大百周年時計台記念館)



# 高齢者支援ロボット／学校産ハイブティ 仮想企業生徒「まいど」

左京でフェア

授業で仮想の企業をつ  
くって学んでいる小中高  
生や大学生が実際に販売  
を体験する「バーチャル  
・カンパニー トレード  
フェア2007京都」が  
十八日、京都市左京区の  
京大百周年時計台記念  
館であり、生徒らがユニ  
ークな商品を披露した。  
仮想企業は、生徒らが

授業で立ち上げ、商店や  
企業と特産品を作った  
り、架空の商品を企画す  
るなどして商取引を学ん  
でいる。フェアは今年で  
七回目。京都の行政や企  
業、NPO法人(特定非  
営利活動法人)の関係者  
らでつくる実行委員会が  
実際の取引を体験しても  
らおうと主催している。

今年全国の約四十グ  
ループが参加。京都教育  
大付属京都小(北区)の  
「花丸フレンズ38」は、  
高齢者支援ロボットなど  
独自商品のアイデアを来  
場した人にアピールし  
た。木津高(木津川市)  
の「木津NA(な)」は  
同高システム園芸科が生

産したハイブティを販  
売し、好調な売れ行きに  
社長役の二年南祐佳さん  
(17)は「包装を工夫し  
た効果が出た」と商取引  
の面白さを実感してい  
た。